

産衛だより

平成 23 年度第 4 回専門医制度委員会議事録

日 時：平成 24 年 1 月 21 日（土）11：00～16：30

場 所：東京八重洲ホール 新第一ビル

出席者：委員 石竹達也, 車谷典男, 東 敏昭（委員長）,
宮川路子, 宮下和久, 森 晃爾（事務局）,
山田裕一

顧問 大久保利晃

オブザーバー 大神 明, 大久保靖司（専門医制度機
構窓口担当）, 昇 淳一郎（担当理事）,
（五十音順）

I. 報告事項

1. 指導医・専門医・研修医登録状況について

事務局より、平成 24 年 1 月 10 日現在の専門医等の登録数（指導医 295 名、専門医 163 名）が報告された。

2. 第 85 回日本産業衛生学会（名古屋）における、「試験部会」・「専門医制度説明会」・「専攻医資格認定試験」の日程について

事務局より、学会総会事務局との調整によって決まった「部会」・「専門医制度説明会」・「専攻医資格認定試験」の日程が報告された。

3. 専攻医資格認定試験試行テストの結果

石竹委員から、11 月 26 日に実施した試行テストの結果について、以下の報告があった。

- 32 名が受験し、平均点 82.2 点、60 点未満は 1 名であった。
- 本番の試験においては、今回の方式で行うことが妥当と考えられた。

II. 審議事項

1. 特別措置による指導医の可否について

申請のあった特別措置による指導医 1 名について、指導医資格を承認した。

2. 「専門医」第 15 期（No.226）（指導医申請）保留者について

学会での発表を条件に保留となっていた「専門医」第 15 期の指導医申請の判定保留者 1 名について、発表実績が認められたので、指導医資格を承認した。

3. 研修施設等認定について

新たに申請があったサービス提供型研修施設 6 箇所、研修協力施設 2 箇所を承認した。

なお、現在資料不足等の理由で、サービス提供研修施設 3 箇所、教育情報提供型施設 4 箇所、研修協力施設 2 箇所が保留扱いになっている。

4. 平成 23 年度専門医制度委員会事業報告について

事務局案について、審議の結果承認した。

5. 平成 24 年度専門医制度事業予定（案）について

事務局案が提案され、一部追加修正のうえ、承認した。

6. 指導医・研修医に対するアンケートの実施について

指導医については、例年の質問項目に加え、研修施設等へ

の登録について確認する項目を追加して実施することになった。研修医へのアンケートに関しては、例年の質問項目で実施することになった。

7. 平成 23 年度決算（案）、平成 24 年度予算（案）について

事務局案について、審議の結果承認した。

8. 専攻医制度の周知について

(1) 日本医師会への協力依頼について

理事長および委員長名で協力依頼を出すこととした。

(2) 広報について

産業衛生専攻医リーフレットを 30,000 部印刷して、各都道府県医師会等に配布することになった。また、産業医ジャーナルの広告などを利用して、積極的に広報を行っていくことになった。

9. 日本専門医制評価・認定機構について

今後の機構との関係に関する日本産業衛生学会専門医制度委員会の現時点での方針について議論を行った。

10. 次回委員会開催について

次回委員会を、平成 24 年 4 月 1 日（日）11 時から、東京八重洲ホール新第一ビルで開催することになった。

平成 24 年 3 月

日本産業衛生学会産業看護部会

平成 23 年度 編集委員会活動報告

産業衛生学雑誌編集委員長：笠島 茂

1. 編集委員会は、編集委員全員による委員会を 4 回（うち 3 回は net 委員会）、委員長・副委員長による編集小委員会を合計 10 回（月 1 回の net 委員会計 9 回および名古屋での会合 1 回）開催し、主に編集方針について審議した。

2. 産業衛生学雑誌（産衛誌）53 巻 1～6 号の刊行は順調であった。掲載内容は、総説 2 編、原著 2 編、短報 1 編、事例 1 編、調査報告 4 編、話題 3 編、資料 3 編の計 16 編（前年 26 編）、および、許容濃度等の勧告、許容濃度の提案理由、研究会からの資料等であった。

3. 平成 23 年 1～12 月末までの産衛誌への投稿数は、総説 3 編、原著 18 編、短報 3 編、調査報告 4 編、話題 8 編、資料 1 編、事例 1 編、レター 1 編の合計 39 編（前年 32 編）、この期間における掲載不可、取り下げ、期限切れの論文数は 16 編であった。

4. Journal of Occupational Health (JOH) Vol.53 No.1～6 の刊行は順調であった。掲載内容は、Review 3 編、Original 29 編、Brief Report 3 編、Field Study 18 編、Occup H/S World 2 編、Case Study 1 編、Correspondence 2 編の計 58 編（前年 46 編）、および、許容濃度等の勧告であった。第一著者の国別では、日本 28 編、国外 30 編（中国 6、イラン、韓国、スウェーデン各 3、イギリス、台湾、各 2、アメリカ、インド、オーストラリア、タイ、ドイツ、トルコ、フランス、ブラジル、ポーランド、香港、レバノン各 1）であった。JOH のインパクトファクター（2010）は 1.701 であった。

5. 平成 23 年 1～12 月末までの JOH への投稿数は, Review 4 編, Original 163 編, Brief Report 9 編, Case Study 8 編, Field Study 30 編, Opinion 4 編の合計 218 編 (前年 247 編), この期間における掲載不可, 期限切れ, および取り下げの件数は, 143 編 (前年 179 編) であった.
6. 日本学術振興会平成 23 年度科学研究費補助金 (研究成果公開促進費) (補助額 490 万円) を取得し, 平成 24 年度分の申請を行った.
7. 「編集委員長と話そう」第 6 回を平成 23 年 5 月 20 日 (第 84 回総会時, 東京都港区) に, 第 7 回を同年 11 月 25 日 (第 21 回産業医・産業看護全国協議会時, 福岡市) に開催し, 学

会員との意見交換を行った.

8. 第 4 回日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) (平成 23 年 10 月 5 日) に益島編集委員長が出席した.
9. 平成 24 年 1 月より, 科学技術振興機構の J-STAGE3 投稿審査システムの利用が可能となった. 平成 22 年 10 月 1 日から運用を開始した ScholarOne Manuscripts を利用する Web 投稿・査読システム自体に変更はない.
10. 産衛誌 53 巻 3 号から 5 号に「東日本大震災特集」として 3 編を掲載した.
11. 平成 23 年度産業衛生学雑誌優秀論文賞に平成 23 年 1～12 月に公表された産衛誌掲載論文から 3 編を選考した.

第 23 回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は, 基礎コースと応用コースに分かれ, それぞれ 2 日間, 講義と実習を行います. 救急救命法, 健常者や生活習慣病罹患患者に対する運動処方, 筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です. 本研修会には日本体力医学会会員以外の方も参加できます. 他の研修会を受講し資格や称号を取得された方で, それらの更新に必要な認定単位取得のために受講されても結構です. 受講証明書を発行いたします.

本研修会の詳細および申し込み方法等は体力医学会ホームページをご参照下さい.

ホームページアドレス: <http://www.jspfsm.umin.ne.jp/>

1. 会場: 東京慈恵会医科大学西新橋校, 大学 1 号館 6F 機能系実習室, 他

2. 日時および研修カリキュラム

(I) 基礎コース: 平成 24 年 7 月 6 日 (金) (運動と神経・筋, 運動と呼吸, 運動と代謝 (水・電解質およびエネルギー代謝), 運動と栄養, 運動と循環, 懇親会), 7 月 7 日 (土) (運動処方の基礎, 生活習慣病の運動処方 (肥満・糖尿病・高脂血症), 救急救命実習 (人体模型を用いた実習))

(II) 応用コース: 8 月 3 日 (金) (高血圧症およびその他の循環器疾患の運動処方, 運動器疾患の運動処方, 運動処方実習 (自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 尿検査, 体組成測定実習), 8 月 4 日 (土) (運動処方の作成 (前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し, 実施させる), テーピングおよび筋力トレーニング実習), 8 月 5 日 (日) (修了試験)

3. 受講料: (I) 基礎コース, (II) 応用コース, 修了試験の全てを受講した場合は 50,000 円, 単科コース (基礎コース, 応用コースの各コースを単独受講) を受講する場合はそれぞれ 25,000 円 (2 日間コース) です. 尚, 学生受講者は 30,000 円 (基礎・応用コース) と致します. ただし, 学生証の提示が必要です.

4. 受講資格と定員: 受講資格は特に定めません. 定員は各コース 40 名です.

5. その他: 健康運動指導士, 実践指導者の登録更新に必要な履修単位 90 分 1 単位 (講義題目 8 科目認定) および THP では基礎コース 5 単位, 応用コース 5 単位が認定されます.

6. 申し込み方法

本研修会受講希望者は, 葉書または FAX で, 日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい.

7. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
 一般財団法人 学会支援機構内
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係
 電話: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
 E-mail: jspsfm@asas.or.jp